

令和6年度 学校評価

島根県立浜田商業高等学校

令和6年度 重点目標	具体的取組事項	評価指標 (学校評価アンケート以外)	自己評価	次年度に向けての改善策	関係者評価		外部評価		学校運営協議会	
					評価平均	R6	R5	R6	R5	意見・感想
(1) 主体的・対話的で深い学びの授業改善に取り組み、評価を工夫し、生徒の基礎学力の定着を図る。	・家庭学習定着のための適切な課題や宿題の奨励 ・各種小テストでの基礎学力の向上 ・授業互見による授業改善 ・家庭学習時間調査の確実な実施	家庭学習時間調査 出席率 生徒アンケート	①各種行事を通じ互いの価値観を大切にして周囲の人と良好な人間関係を築いていた。 ②人権・同和教育担当と協力し、さわやかステージの企画・実施をした。全員参加型の講演会は生徒の理解しやすい内容であり、一人一人に合った学習方法があることを認識した。教職員研修では教職員が常に高い人権意識を持つことの重要性と、本校生徒の実情等について確認することができた。	①授業アンケートや授業互見を活用し、授業力の向上につなげていきたい。観点別評価についても本校としてのきっちりとした規準作りをしていきたい。 ②「行ける進路先ではなく、行きたい進路先」を選択できるように学力をつけさせたい。3年生は4月に業者模試を行い、進路選択の資料として早めに自己判断をさせる。 ③授業担当者や連携を密にして、生徒一人一人に目的意識を持たせるよう努める。	3.0	B	B (3.0)	B	B	【学校評価アンケートについて】 ①学習環境について、教職員の評価が低いのは何故か？（学校回答）・教員が一人1台端末を使い切れていないという反省もある。ICT機器を有効的に活用していかなければならない。 ②宿題をしない原因は？質なのか量なのか興味を持っていないのか？（学校回答）・テストごとの学習調査では「普段からやっている」という生徒が増えてきている。目的を持っている生徒は頑張っている。課題提示の仕方には改善の余地があると感じている。 ③あいさつについて（委員発言）・長浜まちづくりセンターを使う生徒は、きちんとあいさつできている。西浜田駅を利用する生徒のマナーも良い。・コーディネーターとして他校にも行くが、一番あいさつするのが浜田商業の生徒。
(2) PTA組織と連携し、生徒及び保護者の人権意識の高揚を図り、自他を大切にできる人間を育てる。	・生徒意識調査を活用しての実態把握 ・人権・同和教育HRの充実 ・差別に対する実践的態度の育成	生徒意識調査 行事振り返りアンケート	①各種行事を通じ互いの価値観を大切にして周囲の人と良好な人間関係を築いていた。 ②人権・同和教育担当と協力し、さわやかステージの企画・実施をした。全員参加型の講演会は生徒の理解しやすい内容であり、一人一人に合った学習方法があることを認識した。教職員研修では教職員が常に高い人権意識を持つことの重要性と、本校生徒の実情等について確認することができた。	①学年の垣根を超えた活動が充実した内容になるよう生徒を支援する。リーダーシップを発揮する場面を設定し、他者を尊重した考え方を育成する。 ②モデル校の指定が終了した後も教職員の人権意識が継続できるように、関係機関とのつながりを大切に保ち、啓発的な研修会を設定する。 ③軽率な言動で互いを傷つけないよう、自分の言動に責任を持つ姿勢を日々指導する。	3.2	A	A (3.1)	A	A	④地域連携について、教員の評価が浜商デパート以外で厳しくBとなっている。 （委員発言）・学校全体としては昨年度より評価があがっており、地域連携はAで良いと思う。・2/12新規ビジネスプラン発表会、2/5課題研究発表会では素晴らしい内容の発表がなされていた。Aに良いと考える。・地域連携での要望を出したい。一つは8月の「長浜地区八朔花祭り」で浜田商業の生徒に花を作ってほしいということ。もう一つは「郷土かるた」を作ってほしいということ。平成28年に浜田商業文芸部が作成した44枚のかるたがある。
(3) 部活動や生徒会活動を通して、主体性・協働性を涵養し、自己成長や自信を感じる人間を育てる。	・生徒会の主体的活動への支援 ・部活動に対する意識の向上と支援	部活動加入率 学園祭等事後アンケート	①部活動はじめ諸活動は徐々に充実した活動になってきた。 ②学習活動・部活動・行事などを通じ、生徒一人一人が自分で行動できるよう指導を行うことができた。	①生徒会活動がより充実した活動になるよう支援する。 ②他者を思いやり、行動できるよう学年集会・朝礼等を活用し話をしていくことが必要である。	3.3	A	A (3.2)	A	A	⑤資格取得について、検定合格率が評価指標とされているが、合格率が目標ということか？（学校回答）・検定試験ごとの合格率を出しており、昨年度と比べて合格率が上がった検定試験が多い。授業単位で実施しているものが多いので、極端に受検者数が少なくなることはない。合格者の割合を高めることを目標としている。
(4) さわやかなあいさつ、身だしなみ等、ビジネスマナーを実践し、TPOをわきまえた行動ができる人間を育てる。	・授業の開始と終了での挨拶の徹底 ・身だしなみ検査の実施	身だしなみ検査	①礼法指導は生徒部と連携し、月に一度全体指導を実施することで、生徒・教職員の共通認識を深めることができた。廊下では自発的に挨拶をする生徒が増え、職員室の入室時には「参りました」と礼儀正しく挨拶する生徒が多く見られるなど、良い変化が現れた。 ②欠席等が目立つ生徒が一定数いるものの、大半の生徒は基本的な生活習慣や規範意識を身につけている。 ③挨拶、身だしなみ、時間厳守等継続的に指導を行い、大半の生徒が基本的なマナーや生活態度を身につけることができた。	①全体マナー指導については、引き続き生徒部と連携し、計画的に実施する。 ②ルールやマナーを守る姿勢を学年全体で持てるよう、学年集会や授業等を通じて意識付けを行う。 ③18才成人の観点からも、生徒部・生徒会・商業部等と連携して、ルール厳守や安全（防犯）意識を高めるようにする。	3.1	A	A (3.2)	A	A	⑥進路実現について、今年度は進学が多いと聞いたが、この傾向への評価は？（学校回答）・例年は就職が5～6割、進学が5～4割だが今年度は進学が66%、就職が34%。うち商業系の大学に16名進学し、中には商業科教員になりたいという意思を持つ生徒もいる。・普通高校ではなく、商業高校としての特色を出すことも大切である。
(5) 地域連携を深化させ、体験的・実践的な授業や活動を通して地域理解を深め、地域貢献の意識を高める。	・地域行事への積極的参加 ・浜商デパート等の販売実習の充実 ・課題研究の充実 ・生徒募集に繋がる魅力化事業の一環として、浜田市役所や県大との連携・交流	行事振り返りアンケート 魅力化アンケート	①2日間にわたり浜商デパートを開催し、商業の学びを深める貴重な経験を提供するとともに、商業高校としての魅力を発信することができた。また、発表会や多くの授業において、地域資源を活用した学びの機会を実践した。	①地域や保護者に確実に情報が伝わるよう、他分掌と連携し、外部への周知体制を構築する。また、実施目的を明確にし、商業の学びを深める取り組みを推進する。 ②次年度は、検定で身につけた知識を社会で求められる実践的なスキルへと昇華させることに努める。その過程で、「地域活性化に貢献する」人材の育成を目指し、さまざまな場面で地域連携を積極的に推進していく。	3.1	A	B (3.0)	A	A	⑦就職内定率は？浜田市とハローワークで毎年地元就職のお願いをしているが、（学校回答）・就職内定率は100%。求人1,300（うち県内300）で就職21名のうち県内企業は15名。その他警察官3名を入れると県内は18名。・生徒は就職先の職場環境や雰囲気も重視している。
(6) 高度資格を含む資格取得に向けて、主体的・積極的に取り組む姿勢を育てる。	・検定の個別受験時の支援体制	検定合格率	①全商上級資格の受験者数および合格者数の増加を目標に、補習計画を実施した。その結果、昨年度と比較して上級資格の受験者数・合格者数が増加し、特に2・3年生の1級合格者数は昨年度を大きく上回った。また、国家資格ITパスポート試験では6名が合格し、目標を達成することができた。	①全ての検定試験への興味関心や主体的に検定試験に挑戦するために日々の授業での声掛けやICT端末の活用方法、外部講師との連携を段階的に取り入れていく。検定指導を通じた知識・技術の定着に加え、学びを実践する機会を提供し、実践的な知識・技術の習得や人間力の向上を図る取り組みを推進する。	3.2	A	A (3.2)	A	A	⑧ホームページなどの情報発信について。（委員発言）・情報発信でメディアに対する投げかけがフンテンボ遅い。取材に行けなかったケースがあった。是非ほかのメディアを活用してほしい。・ホームページは更新が多いですごく感じている。・ホームページを開くとイラストが表示されるので印象には残る。・中学生は、オープンスクール等で浜田商業の教職員や生徒と直接触れ合うことにより入学動機に繋がっている。また保護者同士の情報も影響力が大きいので、保護者向けの情報発信も重要。
(7) 正しい生徒理解による、個別・最適な進路指導の支援をし、進路実現を果たす。	・補習、各種模試、小論文指導、面接指導の効果的な実施 ・ハローワーク、支援センター、行政機関、就労・進学先等との連携 ・進路志望調査に基づく企業訪問、求人開拓、学校訪問の推進	就職内定率 進学合格率 行事振り返りアンケート	①関係機関のサポートもあり、生徒たちは地域のことや地元企業について、情報提供の場を設けたことで、新たな視点で知ることができたのではないかと。 ②巡回相談は実施できなかったがセンター校との面談につなげることはできた。SGの活用については十分にできた。	①情報取得手段が大幅に進化したこと、また進路の多様化が進んでいる点を十分に考慮し、不要な行事は廃止または開催時期を見直し、本来の学習活動・部活動の妨げとならないようにしたい。 ②巡回相談について早めに計画し、行事予定に組み入れる特別支援教育に対する教職員の理解を深めるような研修を、SG研修と隔年で行う。	3.1	A	B (3.0)	A	A	⑨安全指導と危機管理を十分に行う。
(8) 日々の学校行事や授業・部活動等の実施において、学校の特色や魅力の情報発信を積極的に行う。	・ホームページの更新 ・浜商トピックスの発行 ・PTA会誌の充実を図る	PTA役員会の情報 同窓会の情報	①生徒を介しての連絡やHPから情報を探すが少なくなってきたと思われる。 ②体験入学・オープンスクールとも多くの中学生の参加があり、本校の様子を肌で強く感じてもらえたと思う。生徒による授業も好評で、内容をより充実させていきたい。	①緊急メール配信に頼り切って、責任感の育成への関心が薄れている。『報・連・相』の意識を定着させるためにも、メールと文書とHPで行う連絡等の選択を行いたい。 ②体験入学やオープンスクールの内容を充実するとともに、座談会など生徒の力を借りながら魅力をアピールし、入学定員確保につなげたい。	3.4	A	A (3.2)	A	A	⑩総合的に見て、本校に入学して良かったと思いますか。
(9) 安全指導と危機管理を十分に行う。	・防災避難訓練の実施 ・安全点検の実施 ・救急法研修の実施 ・保健だよりの発行 ・スクールカウンセラーの活用 ・ゴミの減量化	保健室利用状況 行事振り返りアンケート	①避難訓練を通して防災意識を高めることができた。 ②破損等の小規模修繕は迅速に対応した。経年劣化で危険な状態となっている国旗掲揚台について、予算が獲得でき、撤去・新設工事対応中である。	①災害に応じて対応できるように危機管理マニュアルの見直しを図っていきたい。 ②施設の老朽化が著しく、修繕の必要な箇所はまだ多く残っているため、大規模修繕について引き続き積極的に予算要求していく。小規模修繕も、生徒の安全安心の確保と学習環境向上のため必要性、緊急性を勘案しながら進めていく。	3.2	A	A (3.2)	A	A	
⑩総合的に見て、本校に入学して良かったと思いますか。					3.3	A	A (3.3)	A	A	

評価基準 A(できている)=4.0≧3.1 B(だいたいできている)=3.0≧2.6 C(やや不十分である)=2.5≧2.1 D(不十分である)=2.0≧1.0 (4.0満点中)